

平成26年4月8日

No 118

〈自分に勝つ〉

子供。学校が頂いた資料に、毎日新聞0214「サッカー人にて」三浦和良く休んでる場合じゃない〉がありました。

いい準備をしなければ、何も始まりはしない。今年もそんなこと考えながらキャンプも過ごしている。試合が続くシーズン中なら、みっちり練習できるのは週3回ほど。横浜FCは1月の1次キャンプ、5日間で9度の練習を消化した。ざっと3倍だ。負荷の量も質も高まるからこの時期は選手が故障へと追いつまれるときでもあるね。体が壊れそうだからとすぐ休むと、大切な練習量が減る。とはいえ無理をすればケガも引まず1年を過ごすことになる。しんどさ乗り越える勇氣と、休む勇氣。見極めが難しい。……先発出場の当選線上にいる選手は「休みたい」と切に思う。僕もそう。一方、監督が「休ませたい」選手もいる。横浜FCの話でなく、この海外チームや強豪でもそういうもの。後者は休んでも出られるから「差別だ」と感じる人もいる。でも差別じゃないんだ。1億円の選手と100万円の選手がいる。価値が100倍の選手に無理をたかぬのは当然のこと。とすれば自分も1億円の選手になる。とやるしかない。1月初旬、7アムでの自主トレ。広島の佐藤寿人選手も来ていた。優勝争いでしを合い、連覇し、天皇杯で天日まで戦った身で、この1週間後にはもう走り始めていた。「休んたらいいんじゃないの」と聞くと「休めないうです」という。「休んたら、怖いです」連覇チームのエースだった彼でさえ、怖いだ。自分を支えるものは試合じゃなくて日々の練習。僕や横浜FC以上の人がさらに上を目指している。下からは僕らを追いついてくる人が出る。「休んでる場合じゃない」。そうなるよね。僕も“積極的休養”は2日間だけにして練習へ戻ったよ。フル出場したい。J1に昇格したい。でも「なんとなく」じゃ、だめだ。人一倍やらなきゃ。言い聞かせつつ沖縄渡る。本日親理士会の研修に参加しました。相続、自社保のテーマでしたが、やはりここでも感じたのは、勉強すること。誰よりも多く経験すること。誰よりも多く字の経験したいと一流になれない。講師先生から感じました。「キングカズ」さあがて。 高村幸裕